

日刊 THE NIKKAN 工業 KOGYO SHIMBUN 新聞

未来を読んでいる。
未来が呼んでいる。

本社 TEL 03-5644-7000 FAX 03-5644-7100
 東日本支社 TEL 03-5644-7284 FAX 03-5644-7249
 東京都中央区日本橋小網町14-1住生日本橋小網町ビル

さいたま総局 TEL 048-872-2281
 横浜総局 TEL 045-201-7421
 東北・北海道総局 TEL 022-225-8734
 札幌支局 TEL 011-596-9428
 福島支局 TEL 024-573-6105
 北東京支局 TEL 03-5644-7283
 東東京支局 TEL 03-5644-7139
 南東京支局 TEL 03-5644-7234
 多摩支局 TEL 042-524-5721
 新潟支局 TEL 025-265-2286
 長野支局 TEL 026-219-3886
 千葉支局 TEL 043-245-2711
 川越支局 TEL 049-229-2225
 栃木支局 TEL 028-622-0307
 群馬支局 TEL 027-386-3471
 茨城支局 TEL 029-221-6400
 相模支局 TEL 042-703-3442

西日本支社 TEL 06-6946-3321
 大阪府大阪市中央区北浜東2-16 FAX 06-6946-3329

広島総局 TEL 082-545-8210
 神戸支局 TEL 078-321-1731
 京都総局 TEL 075-320-4272
 東大阪支局 TEL 06-6730-3320
 南大阪支局 TEL 072-221-0050
 岡山支局 TEL 086-225-5705
 福山支局 TEL 084-923-9399
 四国支局 TEL 087-883-6903

名古屋支社 TEL 052-931-6151
 愛知県名古屋市東区泉2-21-28 FAX 052-931-6200

三重支局 TEL 059-227-5261
 富山支局 TEL 076-424-4277
 静岡支局 TEL 054-255-0431
 金沢支局 TEL 076-263-3311
 岐阜支局 TEL 058-201-2255
 浜松支局 TEL 053-454-7496

西部支社 TEL 092-271-5711
 福岡県福岡市博多区古門戸町1-1 FAX 092-271-5751

北九州支局 TEL 093-562-7550
 九州中央支局 TEL 094-285-7230
 東九州支局 TEL 097-578-9195

 日刊工業新聞社 Company Profile

社長メッセージ

世界経済は進化するデジタル技術をいち早く囲い込み独占的運用基盤を構築した巨大IT企業の支配力が強まっております。まさに“21世紀の産業革命”といった様相を呈しております。その中でわが国はモノづくり立国として「付加価値」を生み続けることで生き残る道を選ぶべきだと考えております。

そのためには、難しい技術・システムの開発に挑戦し続けなければなりません。幸いにして日本は多くの基礎技術・要素技術・先端研究を有しております。他の先進国、新興国にない日本ならではの国際競争力を追求し、結果を出すことが求められます。

日刊工業新聞社は2025年に創刊110年になりますが、創刊以来「モノづくり立国」「科学技術立国」「中小企業振興」の旗を掲げて産業総合紙として歩んでまいりました。報道にあたっては現地・現物・現実をしっかりと確認し、ファクトに基づいて報道する方針を貫いてまいりました。

近年、新聞事業と並んで力を入れているのが展示会事業です。今年度(2024年4月-2025年3月期)は、全国(東京・大阪・愛知・福岡)で19の展示会を開催します。2023年11月に一般社団法人日本ロボット工業会と共催で東京ビッグサイトで実施した国際ロボット展には、約15万人に会場をいただき、国内のBtoB展示会で最大規模になりました。大阪では大阪・関西万博と連動したモノづくりの展示会を2023年・2024年・2025年と3年連続で開催します。展示会事業は今後さらに拡大していきます。

わが社は、今後とも産業界の発展のために全力を尽くしてまいります。引き続きご支援・ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

(2024年8月)



日刊工業新聞社 代表取締役社長

井水 治博

日刊工業新聞社は、
「産業総合紙」として、
不断の努力を重ね、
豊かな社会の発展に貢献します。

【経営理念】

- 物事の本質を捉え、産業界の指針となり得る情報を発信する
- モノづくりの革新に注力し、わが国の産業・技術の発展に貢献する
- 社員を大切に、人材の育成に努め、競争力のある企業を実現する

【会社概要】

社名：株式会社 日刊工業新聞社
 代表者：代表取締役社長 井水 治博
 本社：〒103-8548
 東京都中央区日本橋小網町14-1
 代表番号：TEL.03-5644-7000
 FAX.03-5644-7100
 資本金：1億円
 社員数：465名(令和6年7月1日現在)

沿革 100年の歩み



創業者 近藤義太郎 現存する最古の『金属工業鉄世界』(大正7年7月15日付)



池田勇人首相と増田日刊工業新聞社社長 対談(昭和38年9月)

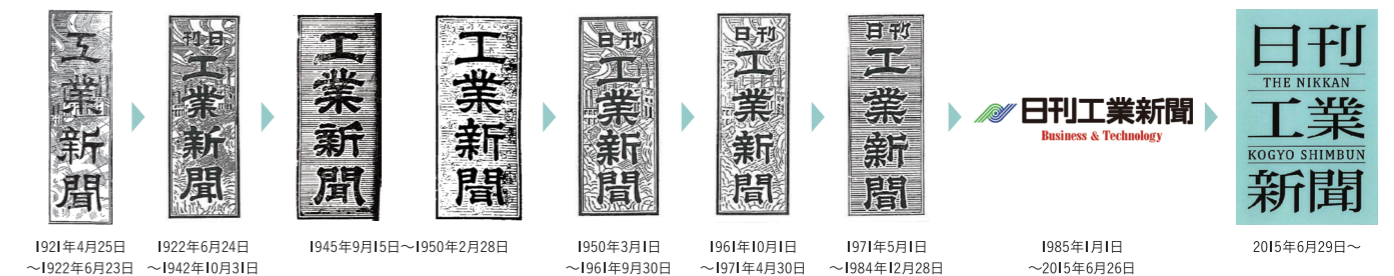


田中角栄著『日本列島改造論』(昭和47年日刊工業新聞社刊)



次の100年も日本の産業発展に寄与できるよう、様々な事業を展開しています。

【題字の変遷】



- 大正 4年(1915) 創業者 近藤義太郎により「金属工業鉄世界」を発行
- 大正10年(1921) 「金属工業鉄世界」を「工業新聞」に改題
- 大正11年(1922) 「工業新聞」を「日刊工業新聞」に改題
- 昭和16年(1941) 本社を大阪から、東京・銀座へ移転
- 昭和17年(1942) 政府の新聞事業例に基づく日刊工業新聞、時事経済新報、中外商業新報(日本経済新聞の前身)等との合併になる「日本産業経済」が発刊
- 昭和20年(1945) 「工業新聞」の題字で復刊第1号を発行
- 昭和21年(1946) 社団法人日本新聞協会に入会
- 昭和25年(1950) 題字を「日刊工業新聞」と改める
- 昭和34年(1959) 日刊工業新聞十大新製品選定表彰制度を設け、本年度より毎年表彰を行う
- 昭和38年(1963) 本社新社屋完成
- 昭和41年(1966) 国内初のファクシミリ国産第1号を導入
- 昭和44年(1969) 「日本産業広告賞」を創設
- 昭和45年(1970) 日本産業広告協会(現日本BtoB広告協会)を設立
- 昭和47年(1972) 「機械工業デザイン賞」を創設
- 田中角栄著「日本列島改造論」を発売、ベストセラーとなる
- 紙齢10,000号達成
- 世界初の産業用ロボットの展示会「国際産業用ロボット展(現国際ロボット展)」を開催
- 昭和49年(1974) 「環境賞」を創設
- 業界初の週休2日制を実施
- 昭和51年(1976) 「発明大賞」を創設
- 昭和53年(1978) 「フレッシュマン産業論文コンクール(現フレッシュャーズ産業論文コンクール)」を創設
- 昭和58年(1983) 「優秀経営者顕彰制度」を創設
- CTS(新聞制作システム)の新システムN-CESによる新聞制作を開始
- 昭和60年(1985) 日本工業人クラブ連合会(現日本産業人クラブ連合会)を設立
- 創刊70周年事業として「日刊工業産業研究所」を設立
- 昭和63年(1988) 「中小企業優秀新技術・新製品賞」を創設
- 平成 2年(1990) 大阪支社、名古屋支社、西部支社の新社屋完成
- 「読者が選ぶネーミングベスト10(現読者が選ぶネーミング大賞)」を制定
- 「グリーンフォーラム21」発足
- 平成 3年(1991) タウン情報誌「メトロガイド」を発刊
- 平成 7年(1995) インターネット・ホームページ「日刊工業新聞社 Business Line」を開設
- 平成 8年(1996) 「オゾン層保護大賞」を創設
- 平成10年(1998) 電子メールによる新聞界初のニュース配信「ニュースウェーブ21」スタート
- 平成12年(2000) 本社を東京・日本橋小網町に移転
- 平成16年(2004) 「モノづくり部品大賞(現超モノづくり部品大賞)」を創設
- 「第1回キャンパスベンチャーグランプリ全国大会」を開催
- 紙齢20,000号達成
- 平成17年(2005) 「モノづくり推進会議(現モノづくり日本会議)」を設立
- 平成18年(2006) 「100年経営の会」設立
- 平成19年(2007) 本紙の電子販売開始
- 平成23年(2011) 題字を含め紙面デザインを一新
- 平成24年(2012) 新CTS始動
- 平成27年(2015) 「日本防災産業会議」発足、日刊工業新聞社が事務局となる
- Webサイト「ニュースイッチ」をリリース
- 創刊100周年
- 平成30年(2018) 「SDGメディア・コンパクト」創設メンバーとなる
- 令和 4年(2022) 東京支社を東日本支社、大阪支社を西日本支社に名称変更

新聞・デジタルメディア事業

産業総合紙としての役割を果たすため、すべての産業分野を網羅し、迅速・的確な情報を発信し続ける新聞、デジタルメディア事業。



■日刊紙発行



■電子版



■ニュースイッチ

日刊工業新聞の記者が気になる記事を解説。新聞とはひと味違う切り口でニュースを紹介



■TREK!

新聞・雑誌記事、画像・図版、セミナー動画などを販売



■電子版アプリ

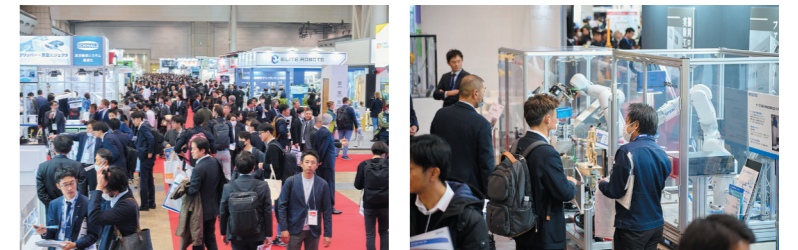
イベント事業

「国際ロボット展」「MF-TOKYO」「スマートファクトリーJapan」「防災産業展」など先端分野から要素技術まで幅広くコミュニケーションの場を提供

NIKKAN EVENTS



詳しくはこちら



愛知

AXIA EXPO

スマートファクトリー Japan 2024 愛知

名古屋プラスチック工業展2024

大阪

未来モノづくり 国際EXPO

福岡

第34回 食品産業創造展 '24

人と社会の豊かな未来を創る

モノづくりフェア2024

東京

IREX INTERNATIONAL ROBOT EXHIBITION

MF-TOKYO 2025 第8回 プレス・板金・フォーミング展

試作市場 & 微細精密加工技術展

高精度・難加工技術展

洗浄総合展

表面改質展 Surface Structure Design Show

Japan Robot Week 2024

防災産業展2025

VACUUM真空展

先端材料技術展

グリーンインフラ産業展 2025

2025 4th ISIEEX 国際宇宙産業展

スマートファクトリー Japan 2024 秋

Geo spatial 空間EXPO

出版・教育事業／顕彰・表彰事業

深い技術動向や経営実務を分かりやすく読者に届ける雑誌・書籍の販売、セミナーや教材制作事業も展開。



■書籍刊行

■雑誌刊行

■教材DVD製作



■セミナー運営



■通信教育事業

おもな顕彰・表彰事業

- | | |
|----------------|------------------|
| 十大新製品賞 | 優秀経営者顕彰 |
| 日本産業技術大賞 | 中小企業優秀新技術・新製品賞 |
| 機械工業デザイン賞 IDEA | 読者が選ぶネーミング大賞 |
| 日本産業広告賞 | キャンパスベンチャーグランプリ |
| 環境賞 | 理工系学生科学技術論文コンクール |
| 発明大賞 | 超モノづくり部品大賞 |



機構・組織図

